

多治見高校自然科学トピックス

平成 30 年 12 月 28 日

今年度、多治見高校の自然科学コース及び科学部では「高校生による動物追跡システムを用いたゴキブリの行動解析」について、中谷医工計測技術財団から助成金をいただいて研究を行っています。12月23日（日）に、東京で開かれた同財団の成果発表会に科学部の2年生3名が参加しました。

成果発表会の前には、東京大学総合研究博物館の遠藤秀紀教授による特別講演「動物のからだに探る5億年の進化」を聞きました。講演では、遠藤先生自身が動物を解剖したり、MRIで骨格を調べたりして、今生きている動物の体がどのように進化して形作られて来たのか、その形にはどのような機能があるのかについて、分かってきたことをたくさんの実例を紹介していただきながらお話ししていただきました。

その後の発表会では、初めてのポスター発表ということもあり、また、想定よりも参加者が多く（50校、約170名）、開始すぐはとても緊張していました。聞きに来てくれた方に説明し、質疑応答を繰り返すうちに自信をもって話せるようになりました。特別講演をしていただいた遠藤先生とも研究について議論ができ、また、お褒めの言葉もいただくことができました。他にも多くの方に、褒めていただいたり、自分たちの研究の足りない部分、説明が曖昧な箇所を指摘していただき、非常に有意義な会となりました。今後は平成31年3月に開催される生態学会での発表に向けて、研究活動を頑張ります。



初めてのポスター発表



発表中の風景、中央が遠藤教授

担当：佐賀達矢